



お花屋さん

今年最初の本欄でご紹介したフロントのお花は、アウル開設時からフレンチラインというお花屋さんをお願いしています。「お花の色合いが個性的で、池坊華道を教えていた母も気に入っていました」と、開設前から利用していた武田施設長。赤やピンクといった色を多用せずとも明るさや季節感を創り出せる大胆かつ繊細な表現に惚れ込んだといいます。

それもそのはず、代表の平野昌樹さんはフランス・パリでも修行したフローリスト。花の特性を見事に生かしたハイセンスなアレンジメントで、定期注文の顧客にレストランやサロンなどが多いのも頷けます。「見た方に喜んでいただけるのが仕事の原動力」と平野さん。お褒めの言葉はアウル経由で届けますので、お花に感動された方はぜひ一言お願いいたします。



◀5月28日に誕生日を迎えたリリこ。年1回の健診でも異常なしで、「歳のわりには元気」と獣医さんも太鼓判。

14歳になりました!

思い出の桜

今年もアウルコート真駒内の中庭で桜を見ることが出来ました。中庭の桜を見ると、1年前に新米介護士としてデビューしたのを思い出します。



介護職員 佐藤 智美

異職種から転職してきた私にとっては何もかもが新しいことばかりで仕事に慣れるまで時間がかかりましたが、丁寧に仕事を教えてくれる先輩方に支えられ、この仕事の難しさも楽しさもたくさん学ばせてもらいました。

1年経ちましたが、今もまだ毎日が勉強です。同時にそれは刺激的でもあり、私にとっては戻らないと思っていた青春が思いがけず戻って来たような感覚で、介護士として人の役に立てることに喜びを感じています。

これからも、アウルコート真駒内を選んでくださった入居者様お一人おひとりの理解を深め、皆様と一緒に笑顔の時間を増やせるように努力をしていきたいです。

●介護付有料老人ホーム(一般型特定施設入居者生活介護)

アウルコート真駒内

〒005-0016 札幌市南区真駒内南町4丁目5-3

TEL.011-588-1122 FAX.011-588-1133

入居相談受付中 ☎0120-916-768

交通機関

- 地下鉄南北線「真駒内」駅下車
- じょうてつバス「真駒内駅前」停で真駒内線に乗り(約5分)「南町4丁目」下車(徒歩約4分)

アウルコート真駒内

検索

<http://www.owlcourt.jp>



ふくろうの家

その76
2026年7月

だより

●発行/株式会社私の青い空

●編集/アウルコート真駒内広報室 〒005-0016 札幌市南区真駒内南町4丁目5-3 ☎011-588-1122



夏を前に

代表取締役 武田 治信

7月になりました。早いもので今年も半分が過ぎました。日ごとの寒暖差が大きく季節感が薄かった春を経て、札幌もいよいよ夏本番です。

7月は和風月名で文月といい、旧暦では初秋にあたるそうですが、7月の季語は七夕、小暑、大暑、海の日と暑い夏を彷彿とさせる言葉が並びます。今年も温暖化の影響でしょうか、6月で早くも猛暑日となった地域があったり、沖縄に台風が近づいた日もありました。

「夏の蝶 日かげ日なたと 飛びにけり」

(高浜虚子)

今年も暑い夏になるのでしょうか。体力・気力を整えて、盛夏を迎えたいと思います。

さて、夏といえば、土用の丑の日に食べるウナギです。今年は7月26日とのこと。この習慣は江戸時代の蘭学者・平賀源内の発案によるもの

といわれています。おせち料理の具材のように、日本には昔から語呂合わせと養生を結びつけた民間習俗があり、丑の日に「う」のつく食べ物を食べて無病息災を願うという習わしもそのひとつでした。かつては、うどん、瓜、梅干しなども食べられていたようですが、平賀源内が夏場に売上の減るウナギの宣伝に土用の丑の日を利用したことを契機に、夏にウナギを食べる習慣が定着したとの説が有力です。今年最初の本欄でもお伝えしたように、私は大のウナギ好き。「う」のつく食べ物では、やはりウナギが一番と思います。

7月の札幌は11日に真駒内花火大会、23日からは大通ビアガーデン。そして祝日が20日の海の日、8月11日の山の日と続きます。暑い盛りを楽しみたいと思います。





体力を考慮し 今年は中庭で

桜を訪ねるお花見ドライブは、入居様が楽しみにされている恒例行事のひとつです。ただ今年は、見ごろの時期が早まったため行事日程との調整がつけづらく、またドライブであっても外出は体力的に厳しいとされる方が増えました。職員一同ジレンマを感じつつも、今年は特別な外出をせず、アウルコートの中庭に咲く桜を皆さんで愛でることとしました。

4月25日(土)のアウル喫茶では、バームクーヘンをお茶のお供にレストランから桜を楽しみました。続いて28日(火)は中庭でのお花見喫茶。爽やかな春風を感じながら、美しく咲き誇る桜を見上げました。

アウルで長く暮らされている方やご家族様は、開設して間もないころの桜をご記憶かもしれません。細く弱々しげな2本の苗木が、今ではご近所でも評判の桜の大樹に育ちました。



▲2007年開設時の中庭の桜

灯台もと暗し 桜の名所、アウル

アウルで暮らしていると身近すぎてピンとこないかもしれませんが、アウルの中庭は実は真駒内南町の桜の名所。お花見の時期には、ご近所の方々が散歩がてらアウルの桜を見に来られます。特に夜は、ライトアップ

現在



をせずとも窓からもれる灯りが中庭の桜を浮かび上がらせ、美しい夜桜が楽しめるといいます。

中庭の桜でのお花見を選んだ今年は、お花見行事はもちろんのこと、自身のお部屋がある階とは違う高さからも眺めてみると、改めて我が家の桜をじっくりと満喫する好機となったようです。「灯台もと暗し」の言葉が示すように、身近なものには気づきにくいもの。今年の春は、アウルの桜の魅力を再認識することができました。

我が家でじっくりとお花見



アウルの四季彩々日記



●3/14(土)・5/16(土)

元気な歌声、響かせて

シンガー堀田雅子さんのミニコンサートを開催。5月はシンガーソングライター蝦名摩守俊さんも加わり、生歌の心地よさを共に歌いながら体感。こぶしを回す伸びのある歌唱が素晴らしく、入居者様から「次回は荒城の月を」との依頼も。



●5/23(土)

車イスでご近所散歩

日中は20度を超える陽気となったこの日、3グループに分かれて近隣散歩を実施。歩ける方は徒歩で、歩行が難しい方は職員が車イスを押して、近くの警察学校周辺を散策。鮮やかな緑が初夏の訪れを感じさせてくれました。



●5/26(火)～29(金)

料亭・川甚の味を堪能

テイクアウトの日には老舗料亭「さっぽろ川甚本店」が初登場。選べる特製彩り弁当はアワビや数の子など高級食材が多用され、1時間かけてじっくり味わい完食された方も。舌の肥えた入居者様も納得の美味しさでした。

